

日本胸部外科女性医師の会 (WTS in Japan)



日本胸部外科女性医師の会
(WTS in Japan)は今年で7回目の集会を無事終えることができました。会の発端は、2002年に自身が初めて

59回日本胸部外科学会定期学術集会（2006年、東京）に併設して第1回目の日本胸部外科女性医師の会（WTSJ）を開催して以来現

は向井千秋先生、藤田博正先生、女性胸部外科医16名の他に男性胸部外科医師4名を含む総勢30名余りと比較的大きな会になりました。WTS in

Society of Thoracic Surgeons の世界最高の会員（Fort Lauderdale, Florida）へ参加した際は、井上千秋先生を講師として聴いていた。彼は、女性が働くこと、家庭の御病気を通じて医師にならんことを決意されたことなど、大學生時代おなじ医師としてのキャリアを形成する際、性別・職種・人種を問わぬ協力して仕事を達成するひととの重要性を知った。これまでに踏まえたな話を伺つた所で、のびりま

JapanWTS 場合は上では
一題一題じっくりと申過言ではなく
ならぬなりの余地の出会いの
を通じて、お互の経験を共
有し一人でも多くの方が樂しく
く胸部外科医を続けていくため
めの肥やしにしていただけ
るべ、今後もWTS in Japanで
開催維続につられてお手伝いいた
きればと考えております。

窪藤 雄(前列左から4番目)
(東京大学医学部附属病院心臓外科)

（東京大学医学部附属病院心臓外科）

- 1994年 医学部卒業、同大学病院にて臨床研修
- 1996年 同大学第一外科入局
- 2001年 東京大学医学部附属病院心臓外科入局。
- 2007年 東京大学大学院医学系研究科卒業、心臓外科・助教を経て2年間カナダへ心臓移植フェローとして留学

現在特任講師として東京大学医学部附属病院在籍。

側性・脾腫(シドン病)の関連

通志·卷一百一十五